資料２

様式第５－１（日本産業規格Ａ列４番）

令和　６年　４月　１日

国土交通大臣　殿

北海道虻田郡豊浦町字船見町１０番地
豊浦町地域公共交通活性化協議会
会長　沼舘　靖展

令和６年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））交付申請書

令和６年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））金１，２９３，０００円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和 30 年法律第 179 号）第５条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

様式第５－１　別紙

令和６年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））交付申請事業

補助対象事業者名　豊浦町地域公共交通活性化協議会　　（単位：円）

補助対象事業の名称及び内容	補助対象事業の着手及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
【名称】 豊浦町地域公共交通計画策定事業 【内容】 ・地域公共交通に関わる調査・分析、現状と課題の整理 ・持続可能な地域公共交通の検討 ・町内交通乗降調査 ・町内住民意見交換会の実施 ・豊浦町地域公共交通計画（案）の作成 ・豊浦町公共交通活性化協議会の開催	着手予定日： 交付決定日以降 完了予定日： 令和７年３月３１日	2,587,000	1,293,000

（添付書類）
（１）補助対象経費に係る見積書
（２）その他補助金の交付に関して参考となる書類

様式第５－１　別紙

地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業）の実施に関する計画

１．当該地域の公共交通の概況・問題点
当町は北海道胆振総合振興局管内の西部に位置し、人口 3,548 人（令和 6 年 2 月末日現在）、高齢化率は 38.2%となっており、人口減少と高齢化が進行している地域です。 総面積は 233.5k ㎡で、大部分が山林となっており、海岸の背後に丘陵が広がる地理的な要件から坂道が多く、高齢者の通院、買い物に係る移動を支える必要性のある地域でもあります。 主な居住地域は町の東部沿岸地域に位置する本町地区であり、こちらに人口の 69%が集中しております。その他、町の中央部の沿岸地域に位置する大岸地区に 12%、町の西部沿岸地域の礼文華地区に 9%、山林が広がる町の北部地域に 10%の人口が広く点在しております。 鉄道線路につきましては、ＪＲ北海道室蘭本線が運行を行っており、町内に豊浦駅、大岸駅、礼文駅、小幌駅の無人の 4 駅が設置されております。 このうち小幌駅につきましては、駅周辺に居住者がおりませんが、観光振興という名目で町がＪＲ北海道に維持費用を拠出して維持し、観光客の誘致を行っております。 また、大岸駅、礼文駅につきましては、1 日の停車本数が室蘭方面、長万部方面ともに 5 本となっており、乗降客数の減少傾向を受け、令和５年度よりＪＲ北海道より廃駅の提案を頂いておりますが、町民生活の重要な施設としまして、廃駅を回避するための協議を継続して行っております。 バス路線につきましては、複数の市町村を通過する路線を道南バス株式会社が運行しており、都市間バスとしましては本町地区と洞爺湖町、喜茂別町中山峠を経由し、札幌駅までを運行する札幌洞爺湖線が 1 路線、地域間幹線系統として本町地区と洞爺湖町を通過し、伊達市の伊達紋別駅までの運行を行う豊浦線が 1 路線、市町村単独バス路線として本町地区と洞爺湖町洞爺駅を通過し、洞爺湖温泉地区までの運行を行う洞爺湖・豊浦線が 1 路線運行されています。 このうち豊浦線につきましては、次年度からの要件を満たさないとのことで、地域間幹線系統から外れるとの連絡を頂いていることから、関係自治体と運行の在り方につきまして意見交換を行う予定です。 町内におきましては、町直営の交通空白地有償運送として町内北部地域を運行する山梨線を 1 路線、大岸地区を経由し礼文華地区までの礼文華線を 1 路線の運行を行っております。 また、有限会社豊浦ハイヤーとの年間委託契約により、同社が所有するジャンボタクシーを無償の定時定路線のコミュニティバスとして本町内 1 路線と、大岸地区を経由し礼文華地区までの 1 路線の運行を行っております。 スクールバスにつきましては、町直営のバスが路線の運行時間の合間にて北部地域及び礼文華地区までの運行を行っております。 その他、町の福祉部門におきまして有償福祉運送を行っており、要介護認定における要支援 1、2 の方を対象に対象地域を町内から伊達市までとし、要件としては通院のみを対象として運行し

ております。

　当町における課題としまして、前述しました複数の公共交通が、非効率的尚且つ運行ダイヤが町民のニーズに即していない状況にあることです。
　平成３０年度から運行を行っているコミュニティバスにつきましては、当初実証実験という形で無償運行を行っておりましたが、そのまま現在に至るまで続いており、地域公共交通としての整備が必要な状況にあります。
また、国鉄自動車営業路線の廃止に伴い代替交通として運行を開始した町直営のバス路線につきまして、利用者の減少が続いており、現状に最適な運行形態への再編が急務となっております。
鉄道の利用につきましても大岸、礼文駅の停車本数が少ないことから日常生活での利用が難しく、他の地域公共交通との連携による利用促進が必要な状況です。
また生活圏域としましても町内にスーパー、高等学校が無く、医療機関も町営の国保病院での診療にも限界があることから、隣町の洞爺湖町や、二つ隣町の伊達市、三つ隣町の室蘭市までの移動ニーズがあります。
そのような地域の特性から自家用自動車の所有率が高い地域ですが、高齢化により自家用車の運転が困難になっても、生活上の必要性から自家用車を手放すことができない高齢者も少なく無いことが、交通安全の側面から見た課題となっております。

　そのような地域課題から、鉄道線や広域のバス路線との円滑な接続を目指し、地域内フィーダー系統の運行も視野に入れ、町民が自家用車を手放してもある程度の移動ニーズを満たせる地域公共交通体系の構築を行うため、地域公共交通計画の作成を実施いたします。

２．目指す交通計画と策定調査の必要性

　当町は平成 21 年度に地域公共交通総合連携計画（H22-H27）を策定以降、公共交通に係る計画の更新、策定を行っていないことから、総合連携計画の評価、見直しに加え、法定記載事項の追加を行い、令和５年度に北海道胆振総合振興局で策定を進めている広域計画である北海道胆振地域公共交通計画と連動した地域公共交通計画の策定が必要です。
策定に係る調査は、町民の公共交通の実態把握と、公共交通活性化協議会における施策の検討及び地域公共交通計画の素案作成に活用する目的で実施いたします。
令和５年度に北海道胆振地域公共交通計画において当町を含む圏域住民へのアンケート調査を行っており、この調査結果から町内公共交通の町民動向や意識についての把握が可能となっていることから、このデータに加え、令和６年度に町内公共交通への乗り込みによる実態調査と地域住民との意見交換会を通じて、どこから、どういった目的で、どういった場所に、どういった形での移動を希望するのか、など実態の調査から顕在的、潜在的ニーズをくみ取り、効率的な地域公共交通体系の構築を目指します。
　また、当事業の実施におきましては、地域公共交通の専門家として豊浦町から地域力創造アドバイザーに地域公共交通計画の策定支援としてアドバイザー業務を委託します。

様式第５－１　別紙

３．事業の実施内容	
実施項目	実施内容
・地域公共交通に関わる調査・分析、現状と課題の整理	平成 21 年度に策定した豊浦町地域公共交通総合連携計画の評価を行ったうえで、町の地域公共交通の現状について、全庁での課題の抽出を行い、将来的にありたい公共交通の理想の形と現実とのギャップを課題として整理する。
・持続可能な地域公共交通の検討	町民の減少、少子高齢化、運転人員の不足、町財政の悪化、環境への配慮など、人口の推移等の社会環境の変化に対応し、事業の持続が可能となるには自治体としてどのような取り組みが必要か、様々な将来推計データを基に検討を行う。
・町内交通乗降調査	町民の公共交通に係る意向については、令和 5 年度の広域計画である北海道胆振地域公共交通計画のアンケート結果をベースとし、その上で豊浦町内の公共交通に調査員が乗り込み、どういった目的で、どこに、何をしに行くのかといった利用ニーズを確認し、より効率的な公共交通手段への代替が可能となるかの検討を行う目的で、利用者に直接聞き取り調査を実施する。
・町内住民意見交換会の実施	町内の４地域（本町地区、大岸地区、礼文華地区、北部地区）において住民意見交換会を実施し、地域の公共交通の実態把握を行う。
・豊浦町地域公共交通計画（案）の作成	協議会での協議内容をもとに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第五条に定めのある事項を盛り込み、計画案を作成する。
・豊浦町公共交通活性化協議会の開催	調査事業および町民意見交換会で協議された内容に基づき、豊浦町地域公共交通活性化協議会に諮り、豊浦町地域公共交通計画を策定する（開催数 4 回）。

４．スケジュール

実施項目	4 月	9 月	12 月	3 月
・地域公共交通に関わる調査・分析、現状と課題の整理				
・持続可能な地域公共交通の検討				
・町内交通乗降調査				
・町内住民意見交換会の実施				
・豊浦町地域公共交通計画（案）の作成				
・豊浦町公共交通活性化協議会の開催				

様式第５－１　別紙

５．予算計画				
実施項目	総事業費 （見込み）	補助対象経費 （見込み）	国費 （見込み）	地域の負担 （見込み）
・地域公共交通に関わる調査・分析、現状と課題の整理	3,058 千円	0 千円	0 千円	3,058 千円
・持続可能な地域公共交通の検討	910 千円	0 千円	0 千円	910 千円
・町内交通乗降調査	2,376 千円	2,376 千円	1,188 千円	1,188 千円
・町内住民意見交換会の実施	543 千円	0 千円	0 千円	543 千円
・豊浦町地域公共交通計画（案）の作成	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
・豊浦町公共交通活性化協議会の開催	1,899 千円	250 千円	105 千円	1,794 千円
合計	8,786 千円	2,626 千円	1,293 千円	7,493 千円